



チャンピオン目指し、一心不乱にうどんをすする小学生—高松市中央公園

5分間に11玉 平らげる人も

うどん大食い選手権

○「うどんの食いつぶ」と大人の二部門で七歳かりを競う「さめきうどん」から五十七歳までの三十三大食い選手権」では子供一人がチャンピオンの座を

目指し、熱戦を繰り広げた。

制限時間三分の子供の部に出場した小学生の男女十三人は、ほおをまん丸く膨らませ、一気にうどんをすすりこんだ。大人の部では大食い自慢の二十人が激突。額を真っ赤にしながらも五分間に十二玉を平らげる出場者

もあり、観客から大きな歓声を浴びた。

各部門の上位入賞者は次の通り。(敬称略)
【子供の部】①石川あむむ(高松市)②山田健太郎(江町)③森山雄介(高松市)安部義規(同)佐野大河(同)【大人の部】①平田秀幸(高松市)②北谷真二(普通通寺市)木森廣晴(奈良)

歯ピカッ

健康だよ



歯並びのチェックなどを受ける児童—高松市錦町一丁目、県歯科医師会館

郡市代表の小中学生 審査会

県よしの児童生徒審査会(県教委、県歯科医師会など主催)が二十五日、高松市錦町一丁目の県歯科医師会館であった。郡市の予選を通過した小学五年生と中学三年生の男女計五十二人を対象に審査を行い、入賞者十二人を決定した。

審査会は今年で五十五回。参加した児童、生徒(岡田)②小山徳隆(筆徒は一人ずつ口腔検診を岡)③橋本慶郎(鬼無)受け、虫歯の有無、歯ぐき▽同女子 ①合田玲香きの状態、歯並びなど▽同男子 ①安川知里(太田)②中西美咲(塩江)項目をチェックした。また、▽同女子 ①秋田恵(玉

口腔検診や筆記試験で総合判断

た、内科検診や歯の構造▽中学男子 ①多田恭平などに関する筆記試験も(木太)②近石忠矢(琴行い、総合的に審査を行平)③馬淵華弥(豊中)った。

各学年の入賞者は次の通り。(敬称略) ①三好智弓(三豊)